

桜町本通り商店街活性化計画

【計画期間 H31年度 ~ H34年度】

1 現状と課題の分析

①地域概況	挙母神社の門前の歴史がある商店街。平成18年に道路整備や商店街ファサード整備が完了。毎月8日に開催される八日市を中心に、豊田東高等学校や地域コミュニティと連携した事業を実施。商店街店舗の構成状況は、飲食店の新規出店や入替はあがあるが、既存の物販店舗は減少傾向となっている。			
②最寄り駅	名鉄豊田市駅	③最寄り駅からの距離	400メートル	
④商店街区域	国道153号線挙母神社西交差点から市道竹生線桜町1交差点間の市道中町線 約140m内とその周辺エリア			
⑤商店街区域内の店舗数	23店舗			
⑥うち組合加入店舗数	21店舗 ※賛助会員（過去の組合員など）15会員	⑦うち空き店舗数	2店舗	
⑧商店街の加入店舗構成	生鮮三品（0店0%）、衣料品（3店14%）、その他小売り（7店33%）			
	飲食店（6店29%）、サービス（4店19%）、その他（1店5%）			
⑨商店街の特徴、強み	①挙母神社の門前商店街で豊田市で一番古い商店街。 ②近隣に桜の名所が多く、“桜”にちなんだ名前の商店街である。 ③デザインされた道路と統一ファサードが整備された商店街。 ④近年、飲食店の出店が多いエリア。 ⑤近隣住民のニーズが高い八日市イベントを毎月開催。			
⑩来街者（主なもの一つに○）	<input type="radio"/> 高齢者		主婦	ファミリー
	<input type="radio"/> 若者		観光客	その他（ ）
⑪来街者交通手段（主なもの一つに○）	<input type="radio"/> 徒歩		自転車	バス
	<input type="radio"/> 自家用車		鉄道	その他（ ）
⑫来街者の来街に要する時間（主なもの一つに○）	<input type="radio"/> 15分未満	<input checked="" type="radio"/>	15分以上30分未満	30分以上1時間未満
	<input type="radio"/> 1時間以上			
⑬商店街等が抱える課題・問題点	【重要課題1】店主の高齢化や後継者不足に伴う廃業が見込まれる。 【重要課題2】商店街を担う若手人材が不足。 【その他】◇商店街の利用者の減少 ◇飲食店以外の出店がない ◇八日市イベントの来場者数は減少傾向			
⑭地域住民ニーズ	八日市イベント開催時の利用者は多いが、日常利用は少ない。また、日常利用の満足度も「満足」の回答率は5割強程度となっている。 桜町本通り商店街ニーズ調査 ※H29.1.8(H28年度)八日市にて第1回の調査を実施 【商店街に来る頻度】月に2~3回以上(27.1%) /月に1回(36.5%) 【商店街に来る目的※複数回答可】日用品・食料品等の買物(34.2%) /飲食利用(15.3%) /イベント(80.0%) 【日常利用の満足度】大変満足・まあ満足 54.2% /ふつう41.2% /やや不満・不満4.7%			

2 商店街の目指す将来像及び目標

①商店街の目指す将来像	「桜」をテーマに「来て楽しい」「見て楽しい」「買って楽しい」商店街を目指す ①事業を通じて商店街の象徴である“桜”のイメージの定着と強化により、商店街のイメージアップを図りながら賑わいのある商店街を目指す。 ②将来的に地元住民だけでなく広域集客ができる商店街を目指す。 ③商店街の世代交代を図る（商店街の新陳代謝）
②基本目標（4年後の達成目標数値）	【歩行者通行量増加】 ※(地点)商店街中央 (調査日時)秋ごろの水曜日9時から17時 (対象)中学生以上の歩行者と自転車 [算出根拠] H22歩行者通行量(H22豊田市通行量調査より引用) 381人をベースに設定 (H31) 380人 → (H32)400人 → (H33)420人 → (H34)440人 【前年比売上増加店舗の割合】 ※商店街組合員アンケート調査で、「売上が前年より増加した回答」の店舗の割合。 (H31)40% → (H32)45% → (H33)50% → (H34)55% 【商店街組合員数の維持】 (H31)21組合員 → (H32)22組合員 → (H33)22組合員 → (H34)23組合員

3 4カ年の事業計画 ※事業ごとに作成すること

①事業名	環境整備事業
②実施予定時期	平成31年 ～ 平成34年
③具体的内容	①商店街の象徴“桜”の街路樹の維持管理 ※平成30年度事業にて桜を植樹 ②店舗バナー装飾（東高との連携協力事業） ③花飾り（年2回） ④あんどんじゃんイルミネーション（東高との連携協力事業） ⑤ラグビー国際大会 盛り上げ装飾 ※平成31年度事業のみ
④必要性・目的	①特徴ある商店街景観の創出（桜並木の名所商店街） ②商学連携・地域コミュニティ団体等連携による地域コミュニティの場の創出 ③商店街PR ④ラグビー国際大会開催の応援と合せた商店街PRと来訪者おもてなし
⑤ターゲット・コンセプト	【ターゲット】①地元住民 ②ファミリー ③観光客（広域客） 【コンセプト】桜をテーマに広域から集客ができる商店街
⑥事業費・採算性の説明	【支出】300千円 ①商店街街路樹（桜）維持管理費 60千円 ②店舗バナー制作費 80千円 ③花苗代（装飾費）120千円 ④あんどんじゃんイルミネーション（備品費）40千円 ⑤ラグビー関連装飾（街路灯バナーなど）※H31度のみ。装飾物を組織委員会へ協力要請 【収入】自己負担 180千円 補助金120千円
⑦新規取組内容、改善点（先導性、先進性、モデル性等）	①将来、桜の名所と呼ばれる商店街を目指し、誘客を図る。 → 地域住民や地元小学校および高校等と連携し、桜をみんなで育てる。 ②豊田東高校デザイン学科に、バナーや行灯のデザインを依頼。優秀作品を装飾に採用する商学連携の”実践の場”としての話題性とPR効果をねらう。 ③ラグビー国際大会来場者の商店街への誘客。
⑧事業効果	商店街歩行者通行量の増加
⑨目標評価指標測定手法	【歩行者通行量増加】※商店街中央の水曜日9時から17時（秋ごろ）の通行量（中学生以上の歩行者と自転車）※算出根拠→ H22歩行者通行量[H22豊田市通行量調査より引用]381人をベースに設定 (H31) 380人 → (H32) 400人 → (H33) 420人 → (H34) 440人
⑩推進体制	①環境整備担当 ②商学連携担当 ※商店街組合員から役割りを決めて推進。
⑪関連計画や事業（地域の動き等）	・商店街の名前が桜にちなんでおり、商店街の入口にある早咲きの桜はまちなかでも有名な桜となっている。また、近隣に桜で有名な桜城址公園がある。 ・中心市街地イルミネーション事業において、あんどんじゃんイルミネーションは、関連事業として位置づけ。また、近隣商店街でもイルミネーション装飾が実施。 ・花飾り事業は、自治区を含めた中心市街地全体での取り組みとなっている。

4 計画期間の事業スケジュール

	31年度【1年目】	32年度【2年目】	33年度【3年目】	34年度【4年目】
事業	通年 桜維持管理 5・11月 花飾り 8-10月 ラグビー装飾 12月 タペストリー入替え 12月 あんどんじゃんイルミ	通年 桜維持管理 5・11月 花飾り 12月 タペストリー入替え 12月 あんどんじゃんイルミ	通年 桜維持管理 5・11月 花飾り 12月 タペストリー入替え 12月 あんどんじゃんイルミ	通年 桜維持管理 5・11月 花飾り 12月 タペストリー入替え 12月 あんどんじゃんイルミ
予算（千円）	300千円	300千円	300千円	300千円
関連計画や事業	①中心市街地イルミネーション事業 ②市街地花飾り事業 ③桜町商店街(売上促進事業・PR事業)と連動	①中心市街地イルミネーション事業 ②市街地花飾り事業 ③桜町商店街(売上促進事業・PR事業)と連動	①中心市街地イルミネーション事業 ②市街地花飾り事業 ③桜町商店街(売上促進事業・PR事業)と連動	①中心市街地イルミネーション事業 ②市街地花飾り事業 ③桜町商店街(売上促進事業・PR事業)と連動
目標達成状況				

3 4カ年の事業計画 ※事業ごとに作成すること

①事業名	売上げ促進事業「八日市事業」
②実施予定時期	平成31年4月 ～ 平成34年3月 ※毎月8日に開催。
③具体的内容	①商店街八日市ワゴンセール、共通販促ツールでのPRやクーポン配布による売上促進 ②商店街内の駐車場などの空きスペースを利用した青空市 ③豊田東高校や地元小中学校、地域コミュニティ団体等と連携した青空イベント ④集客を目的とした季節のお菓子のおもてなし ⑤商店街ニーズ調査・通行量調査
④必要性・目的	①定例イベントによる商店街店舗の売上促進 ②商学連携・地域コミュニティ団体等連携による地域コミュニティの場の創出
⑤ターゲット・コンセプト	【ターゲット】①地元住民 ②高齢者 ③ファミリー 【コンセプト】商店街利用機会の向上
⑥事業費・採算性の説明	【支出】480千円 ①共通販促ツール（商店街クーポン券・POP等）制作費 150千円 ※H31年度のみ ②青空イベント出演料および交通費（委託費）60千円 ③季節のお菓子おもてなし（市・県補助対象外経費）120千円（年間） ④商店街ニーズアンケート調査・通行量調査・イベント運営支援（委託費）150千円 【収入】自己負担 336千円 補助金 144千円
⑦新規取組内容、改善点（先導性、先進性、モデル性等）	①店舗ワゴンセールの強化、クーポン券による売上促進 ②青空イベントの内容強化（ターゲットの来場促進） ※青空イベントは地元高校や地元コミュニティ団体等と連携
⑧事業効果	商店街利用者（お買上げ客数・売上げ金額）の増加
⑨目標評価指標測定手法	【前年比売上増加店舗の割合】 ※商店街組合員アンケート調査「売上が前年より増加した回答」の店舗割合。 (H31) 40% → (H32) 45% → (H33) 50% → (H34) 55%
⑩推進体制	①販促担当 ②イベント担当 ③商学連携担当 ※商店街組合員から役割りを決めて推進。
⑪関連計画や事業（地域の動き等）	・近隣の桜城址公園で毎月第3土曜日に開催されるStreet&Park Marketは、ヤングファミリー層への需要は高いが、八日市はヤングファミリーから高齢者層までの需要を満たす日常的なイベントである。今後、Street&Park Market出店者の八日市への誘致をするなど、商店街ターゲットを高齢者からの若返りを図る予定。

4 計画期間の事業スケジュール

	31年度【1年目】	32年度【2年目】	33年度【3年目】	34年度【4年目】
事業	毎月8日 八日市事業 5月末～ 販促ツール展開 秋 ニーズ・通行量調査	毎月8日 八日市事業 秋 ニーズ・通行量調査 ※共通販促ツール制作なし	毎月8日 八日市事業 秋 ニーズ・通行量調査 ※共通販促ツール制作なし	毎月8日 八日市事業 秋 ニーズ・通行量調査 ※共通販促ツール制作なし
予算（千円）	480千円	330千円	330千円	330千円
関連計画や事業	①Street&Park Market ②桜町商店街（環境整備事業・PR事業）と連動	①Street&Park Market ②桜町商店街（環境整備事業・PR事業）と連動	①Street&Park Market ②桜町商店街（環境整備事業・PR事業）と連動	①Street&Park Market ②桜町商店街（環境整備事業・PR事業）と連動
目標達成状況				

3 4カ年の事業計画 ※事業ごとに作成すること

①事業名	商店街PR事業
②実施予定時期	平成31年 ～ 平成34年
③具体的内容	①SNSによる情報発信で、商店街事業や店舗のPRをする。 ②毎年5月末に中心市街地商店街が一体となって取り組む歩行者天国イベント「ふれ愛フェスタ」において、商店街イベントも併催し、来場者に商店街をPRする。
④必要性・目的	①商店街情報のPR ②商店街店舗の売上促進 ③商学連携・地域コミュニティ団体等連携による地域コミュニティの場の創出
⑤ターゲット・コンセプト	【ターゲット】①地元住民 ②ファミリー 【コンセプト】タイムリーな商店街情報の発信
⑥事業費・採算性の説明	【支出】480千円 ① SNS発信（撮影費・デザイン費など） 50千円 ② ふれ愛フェスタ事業（設営費） 150千円 ※H32年度から ③ “ ” （運営費） 100千円 ※H32年度から ④ “ ” （備品消耗品費） 80千円 ※H32年度から ⑤ “ ” 本部イベント事業負担金（市・県補助対象外経費）100千円 【収入】自己負担 328千円 補助金 152千円
⑦新規取組内容、改善点（先導性、先進性、モデル性等）	①SNSを有効活用した商店街情報の発信をおこなう。 ②商店街事業と共に商学連携事業の情報や地元コミュニティ団体等と連携した事業の紹介により、話題性を向上し、商店街をPRする。 ③商店街で利用できるクーポンのPRおよび配布。
⑧事業効果	商店街歩行者通行量の増加、商店街利用者（客数・売上）の増加
⑨目標 評価指標 測定手法	【歩行者通行量増加】※商店街中央の水曜日9時から17時（秋ごろ）の通行量（中学生以上の歩行者と自転車）※算出根拠→ H22歩行者通行量[H22豊田市通行量調査より引用]381人をベースに設定 (H31) 380人 → (H32) 400人 → (H33) 420人 → (H34) 440人 【前年比売上増加店舗の割合】 ※商店街組合員アンケート調査「売上が前年より増加した回答」の店舗割合。 (H31) 40% → (H32) 45% → (H33) 50% → (H34) 55%
⑩推進体制	①販促担当 ②イベント担当 ③商学連携担当 ※商店街組合員から役割りを決めて推進。
⑪関連計画や事業（地域の動き等）	ふれ愛フェスタイベントについては、中心市街地商店街全体として開催しており、他商店街と連携連動した開催となっている。

4 計画期間の事業スケジュール

	31年度【1年目】	32年度【2年目】	33年度【3年目】	34年度【4年目】
事業	5月 ふれ愛フェスタ → クーポン配布開始 都度 SNS発信など	5月 ふれ愛フェスタ 都度 SNS発信など	5月 ふれ愛フェスタ 都度 SNS発信など	5月 ふれ愛フェスタ 都度 SNS発信など
予算（千円）	150千円	480千円	480千円	480千円
関連計画や事業	①ふれ愛フェスタ事業 ②桜町商店街（環境整備事業）と連動	①ふれ愛フェスタ事業 ②桜町商店街（環境整備事業）と連動	①ふれ愛フェスタ事業 ②桜町商店街（環境整備事業）と連動	①ふれ愛フェスタ事業 ②桜町商店街（環境整備事業）と連動
目標達成状況				

3 4カ年の事業計画 ※事業ごとに作成すること

①事業名	商店街“力”強化事業（空き店舗対策）
②実施予定時期	平成31年 ～ 平成34年
③具体的内容	毎月1回の理事会や不定期の勉強会にて、持続可能な商店街に向けた事業内容について協議検討し、実践する。 ①商店街テナントミックス（空き店舗対策・後継者不足問題の解決） ⇒リノベーションまちづくりや不動産活用についての勉強会 ⇒組合員（不動産オーナー）へのテナントマッチング ②個店の経営改善のための勉強会や他地域商店街等への視察 ③商店街事業を通じた商店街を担う若手や後継者の育成 など
④必要性・目的	①店主の高齢化や後継者不足による潜在的空き店舗の解消 ②連続性のある魅力的な商店街の創出 ③商店街の新たな担い手の創出
⑤ターゲット・コンセプト	【ターゲット】①商店街組合員 ②商店街内不動産オーナー ③テナント事業者 【コンセプト】持続可能な商店街
⑥事業費・採算性の説明	愛商連アドバイザー派遣制度などを活用。また、視察等は近隣商店街と共同で開催するなどコスト面の工夫をする。 ※想定自己負担額 H31 80千円/H32 80千円/H33 80千円/H34 80千円
⑦新規取組内容、改善点（先導性、先進性、モデル性等）	商店街組織が主導して、組合員店舗への経営改善やテナント誘致などをサポートする。具体的な取組みについては、初年度にある程度の方針を固め、翌年度以降につなげていく。
⑧事業効果	商店街組合員数の維持
⑨目標 評価指標 測定手法	【商店街組合員数の維持】 (H31) 21組合員 → (H32) 22組合員 → (H33) 22組合員 → (H34) 23組合員
⑩推進体制	主担当：理事長 副担当：理事全員 ※若手創業者の参画
⑪関連計画や事業（地域の動き等）	①空き店舗等をリノベーションした物件（MAMATOCOやコンテンツニシマチなど） → 事例を参考に商店街として取り組める事業内容を模索、検討し実施する ②豊田で何かおもしろいことをしたい集まり”とよた会議”などのまちづくりの動き → 出席者との交流を図り、商店街の新たな担い手や後継者候補を発掘する

4 計画期間の事業スケジュール

	31年度【1年目】	32年度【2年目】	33年度【3年目】	34年度【4年目】
事業	協議検討	→ 状況により検討	→ 状況により検討	→ 状況により検討
予算（千円）	80千円	80千円	80千円	80千円
関連計画や事業	-	-	-	-
目標達成状況	-	-	-	-

第5期 桜町本通り商店街 商店街活性化計画事業 予算(案)

事業名	収入項目	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
環境整備事業	自己負担	¥180,000	¥180,000	¥180,000	¥180,000
	その他収入				
	市補助金(40%)	¥120,000	¥120,000	¥120,000	¥120,000
	県補助金(-)				
	事業費合計	¥300,000	¥300,000	¥300,000	¥300,000
売上げ促進事業 「八日市事業」	自己負担	¥336,000	¥246,000	¥246,000	¥246,000
	その他収入				
	市補助金(40%)	¥144,000	¥84,000	¥84,000	¥84,000
	県補助金(-)				
	事業費合計	¥480,000	¥330,000	¥330,000	¥330,000
商店街PR事業	自己負担	¥150,000	¥328,000	¥328,000	¥328,000
	その他収入				
	市補助金(40%)	¥0	¥152,000	¥152,000	¥152,000
	県補助金(-)				
	事業費合計	¥150,000	¥480,000	¥480,000	¥480,000
商店街“力” 強化事業	自己負担	¥80,000	¥80,000	¥80,000	¥80,000
	その他収入				
	市補助金(40%)				
	県補助金(-)				
	事業費合計	¥80,000	¥80,000	¥80,000	¥80,000
合計	自己負担	¥746,000	¥834,000	¥834,000	¥834,000
	その他収入	¥0	¥0	¥0	¥0
	市補助金(40%)	¥264,000	¥356,000	¥356,000	¥356,000
	県補助金(40%)	¥0	¥0	¥0	¥0
	総合計	¥1,010,000	¥1,190,000	¥1,190,000	¥1,190,000

※市補助金・県補助金は対象外あり